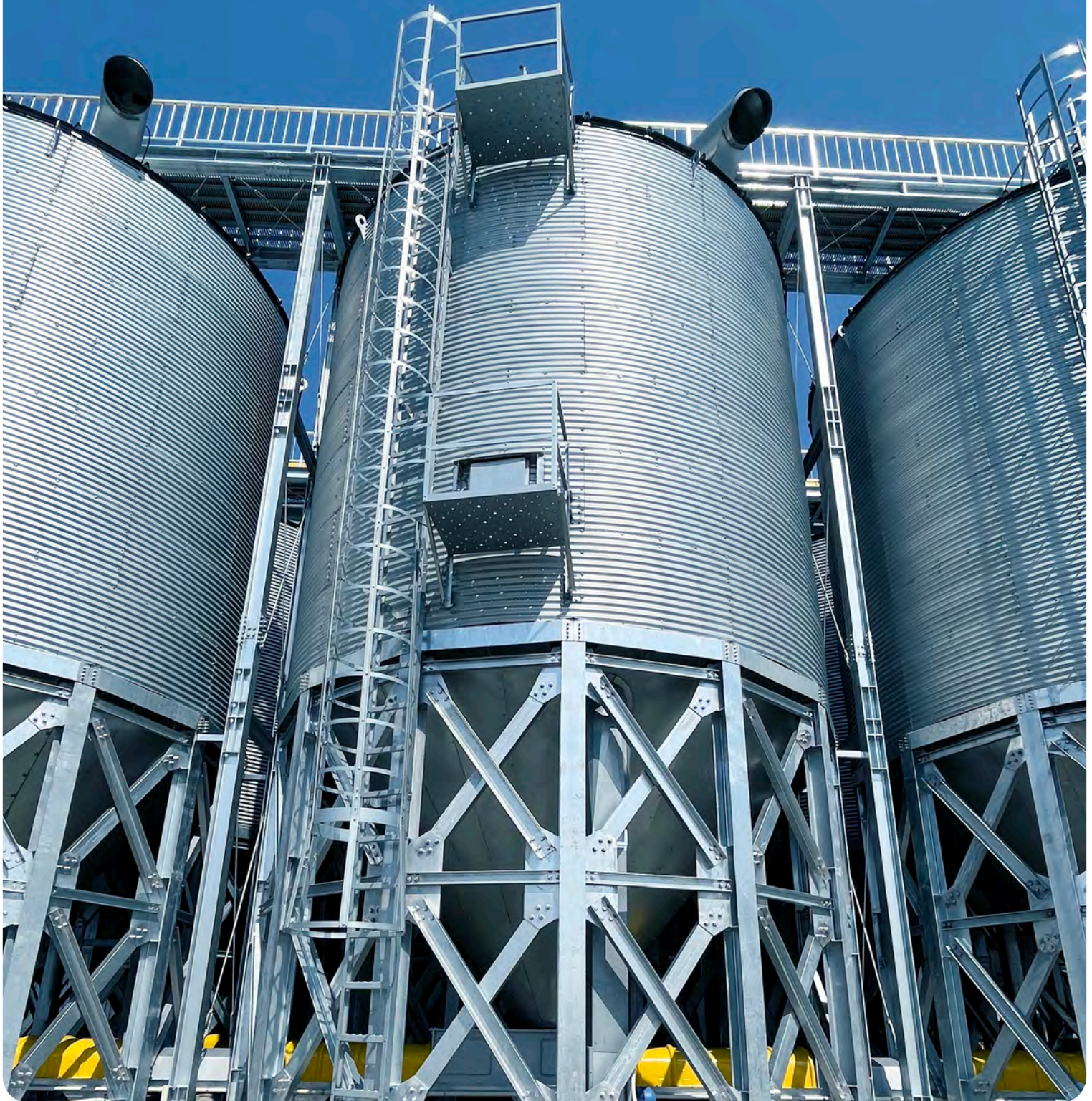


穀物タンク

GRAIN STORAGE TANK

— CONICAL BOTTOM TANK —

穀物の品質と食味の維持に



鋼板製 穀物タンク

収穫乾燥後のお米を粉の状態低温1次貯蔵することは、お米の品質と食味の維持に大変メリットがあります。しかし低温倉庫への保管は、その場所の確保と建設・運用コストの面から難しい課題があります。当社のご紹介する穀物タンクは貯蔵容量が粉で30t~150t程度のコンパクトサイズ。設置面積を取らずコストを抑えて、冷却装置との組み合わせで粉の低温1次貯蔵を実現します。



良食味のお米づくり

粉での低温1次貯蔵で
お米の品質と食味を
長期間維持

良品質保持

結露防止機構
ネズミ・鳥・虫からの
被害を防ぐ

自動制御

温度管理は自動制御
クーラーとの
組み合わせで低温貯蔵

簡単な運用

昇降機やコンベアを
使用した自動運転
1人での運用も可能

粉の穀物タンク低温貯蔵のメリット

建設コスト削減

敷地面積が小さい
建設コストが安価

流通コスト 大幅削減

乾燥機から穀物タンクへ
タンクから粉摺り精米工場へ
バラ搬送で
時短・省エネ・省労力

鋼板製タンク

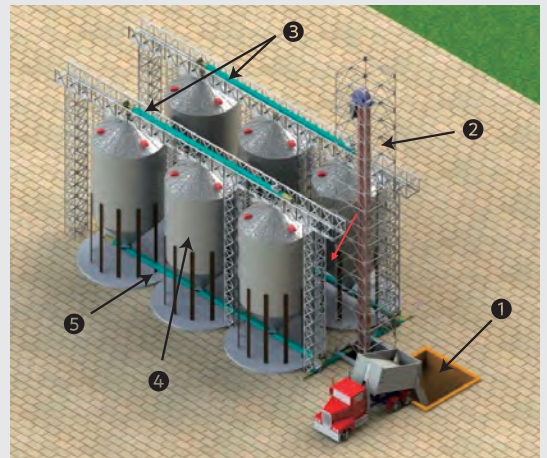
日本の建築基準をクリア
二重隔壁構造の断熱仕様
自己修復作用で
長期に渡り錆を防ぐ

SDGsに貢献

玄米貯蔵から粉貯蔵で良食味
少ない投資で大幅な作業の
合理化を実現

乾燥粉 900t容量タンク モデルプラント

- ① 粉(原料)投入用ホッパー
- ② 昇降機
- ③ 投入用搬送装置(チェーンコンベア)
- ④ 穀物タンク
- ⑤ 排出用搬送装置(ベルトコンベア)



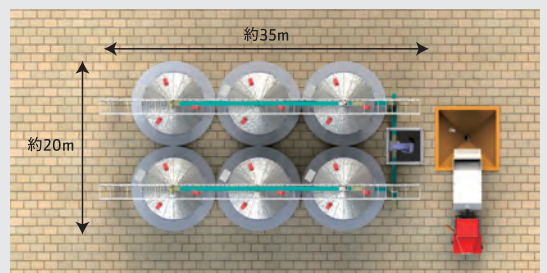
乾燥粉 150t容量タンク×6基 計900t容量のモデルプラント。
タンク1基の寸法は、直径約6.5m、高さ約13mです。昇降機の高さは約25m。

①のホッパーから投入された粉は、②の昇降機と③の搬送装置を経由して、④の各タンクに運ばれます。粉はタンクの屋根の中央部の投入口から、タンク内に投入されます。タンクへの粉の投入中から、別売りのクーラーを使用して冷却が可能です。粉のタンクからの取り出しは、⑤の排出搬送装置で行います。排出搬送装置で粉摺り精米工場やトラックなどに粉を直接送ることが可能です。操作盤を使った自動運転も可能です。

※①の投入ホッパーは地下仕様です。投入ホッパーは日本の輸送方法に合わせた形状・仕様に、また乾燥機から直接投入できるように地上設計可能です。

【参考】穀物タンク設置必要土地寸法

150tタンク×6基であれば、投入ホッパーを除き、約20m×約35mの広さがあれば設置可能です。(付帯設備の条件による)



お問い合わせ

EVERTON Corporation

GLOBAL SUPPLIER OF GRAIN PROCESSING MACHINERY

www.everton.co.jp everton@everton.co.jp

株式会社エバートン

〒349-0205 埼玉県白岡市西4丁目12番13号

TEL:0480-90-4100/FAX:0480-93-9701

